FAC（Functional Ambulation Categories）記録用紙

Holden MK, Gill KM, Magliozzi MR, Nathan J, Piehl-Baker L. Phys Ther. 1984;64(1):35-40.

BRAIN

氏名： **ID：**

年齢： 歳 **性別：**M / F **発症日：** 年 月 日

診断名： **麻痺側：**右 / 左

装具・歩行補助具：なし / 短下肢装具 / 長下肢装具 / T字杖 / 4点杖 / ロフストランド杖 / 歩行器 / その他（ ）

FACカテゴリ定義（Holden, 1984）

0	歩行不能	歩行困難。または平行棒内のみ歩行可能だが、平行棒外を安全に歩くために2人以上の介助が必要
1	介助歩行レベル2	転倒予防のため1人の介助が必要。持続的でバランス保持・動作の手助けに加えて体重支持が必要
2	介助歩行レベル1	転倒予防のため1人の介助が必要。バランス・動作補助のための持続的または断続的な軽い接触介助
3	監視歩行	介助なしに平地歩行可能だが、判断力低下・心肺機能・口頭指示等のため1人の近位監視が必要
4	平地歩行自立	平地は自立して歩行可能だが、階段や斜面、不整地では口頭指示や介助が必要
5	歩行自立	平地や不整地、階段、斜面を問わず、自立して歩行可能

項目	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
測定日	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
発症からの期間					
FAC（0〜5）					
使用した装具・補助具					
10MWT快適速度（m/s）					

変化量の判定（前回との比較）

判定項目	2回目-1回目	3回目-2回目	4回目-3回目	5回目-4回目
FAC変化量（点）				
1段階以上の改善（Y/N）				

※ FACは順序尺度のためSEM・MDC・MCIDは未確立。臨床的な変化判定はカテゴリの段階移動を基準とする（Thieme, 2022）

FACレベル別の歩行指標 参照値（亜急性期脳卒中）

FAC	10MWT快適速度（m/s）	6MWT距離（m）	出典
3（監視歩行）	0.45 ± 0.28	160.7 ± 101.8	Peters DM 2023 n=80 PMID: 37509020
4（平地自立）	0.79 ± 0.31	284.4 ± 110.6	
5（完全自立）	1.08 ± 0.27	367.2 ± 83.4	

ROCカットオフ：FAC 3 vs 4 → 0.59 m/s（AUC 0.79） / FAC 4 vs 5 → 1.02 m/s（AUC 0.79）

予後予測カットオフ 早見表

カットオフ	アウトカム	感度／特異度	出典
4週時点 FAC ≧ 4	6か月後の地域内歩行	100%／78%（AUC 0.89）	Mehrholz J 2007 PMID: 17908575
急性期 座位30秒＋下肢筋力 両陽性	6か月後 FAC≧4	獲得率 98%	Veerbeek/EPOS 2011 PMID: 21186329
急性期 上記いずれか陰性	6か月後 FAC≧4	獲得率 27%（9日目陰性で10%）	

特記事項

本記録用紙はBRAIN独自に作成した臨床補助ツールです。詳細な採点基準は原著論文を参照してください。教育・臨床目的での使用を想定しています。

Holden MK et al. Phys Ther. 1984;64(1):35-40. / Mehrholz J et al. Arch Phys Med Rehabil. 2007;88(10):1314-1319.